



健康だより

問い合わせ先 大間々保健センター ☎(72)2211

「若さの秘訣」
しなやかな血管を保とう

期日 3月8日(金)
時間 午後2時～3時30分
※午後1時30分受け付け開始
会場 桐生大学11号館
定員 30人
内容 講話と血管年齢測定
参加費 無料
申込期限 2月29日(木)
その他 みどり市元氣プロジェクト参加者には、健康ポイントを30ポイント進呈

申し込み。
申込先 大間々保健センター

予防接種を
済ませましょう

予診票は、対象者へ配布または郵送してあります。お手元がない場合は、お問い合わせください。

◎高齢者肺炎球菌
対象 令和6年3月末時点で
65・70・75・80・85・90・
95・100歳で未接種の人

◎麻しん風しん混合
対象
・1期：1歳から2歳までの子
・2期：小学校就学前の1年間にある子

◎二種混合
対象 11歳以上13歳未満の子

◎日本脳炎
対象
・1期：生後6カ月から90カ月までの子
・2期：9歳以上13歳未満の子

※日本脳炎ワクチンは、現在十分な量のワクチンが供給されています。母子健康手帳の接種履歴をご確認の上、未接種分がある場合は接種をご検討ください。

子どもの転落事故に注意しましょう！

子どもは大人と比べて頭の割合が大きくバランスを崩しやすいため、転落事故が起こりやすいです。転落事故を防ぐため、事故原因のトップ3と対策のポイントをお伝えします。

◆第1位 遊具（すべり台、ジャングルジム、ブランコ、うんていなど）からの転落

入院を必要とする事故の約7割が3～8歳で、腕や頭のけがが多い。

〈対策のポイント〉

- 施設や遊具の対象年齢を守る
- すべり台を逆向きに登るなどの危険な遊び方をさせない
- 引っ掛かるおそれがあるため、ひもやフードなど子どもの服装や持ち物に注意する

◆第2位 家具（ベッド、椅子、テーブル、ソファなど）からの転落

入院を必要とする事故の7割以上が0～2歳で、保護者が目を離した際の転落が多い。

〈対策のポイント〉

- ベビーベッドに寝かせる時は、転落防止用の柵を常に上げる
- ベルトなどがある場合は、取扱説明書に従い適切に使用する
- ソファなどの高い所に寝かせない



◆第3位 抱っこやおんぶ、抱っこひもからの転落

入院を必要とする事故の約7割が0歳で、頭のけがが多い。

〈対策のポイント〉

- 抱っこひもの留め具やベルトの緩みを確認する
- 前にかがむ際は必ず子どもを手で支える
- 抱っこやおんぶをする時や降ろす時は座って行う

多くの事故は大人の注意や環境づくりで防げます。対策ができているか改めて確認しましょう！

